

九州電力グループ中期経営方針

当社グループは、小売全面自由化などの競争環境下においても、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランドメッセージとする「九州電力の思い」を実現し、お客さまから信頼され、選ばれ続けるためには、九電グループ一体となった変革を加速させていく必要があることから、2015年4月に2015～2019年度の5か年を対象とする「九州電力グループ中期経営方針」を策定しました。

本方針では、「2030年のありたい姿」と、その実現に向けた3つの戦略を柱として定め、2015～2019年度の5か年において重点的に取り組むべき施策を示しています。

当社としましては、本方針のもと、グループ一体となった取組みを進めることにより、持続的な成長を目指すとともに、ステークホルダーの皆さまへの価値提供を果たしてまいります。

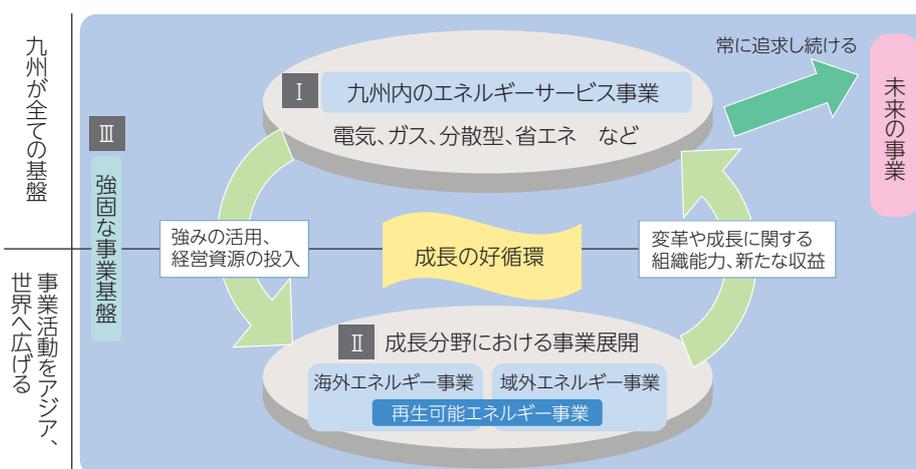
2030年のありたい姿

「日本一のエネルギーサービス」を提供する企業グループ
～やっぱり!エネルギーは九電グループ～

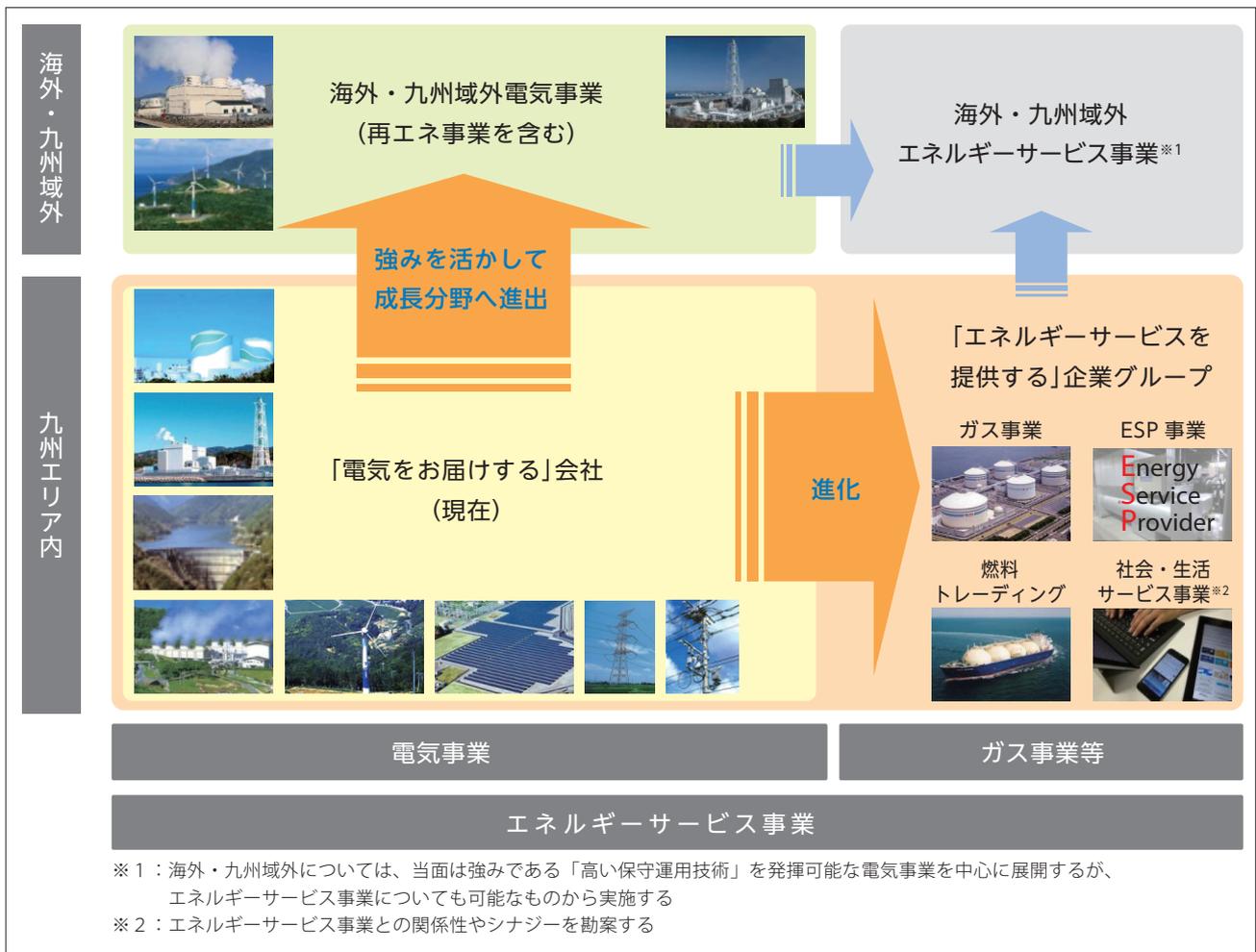
3つの戦略の柱

- I 基盤である九州において、「電気をお届けする」会社から「エネルギーサービスを提供する」企業グループとなり、お客さまのエネルギーに関する様々な思いにお応えし、地域・社会とともに発展していく
- II 九電グループが培ってきた強みを活かして、海外エネルギー事業、九州域外エネルギー事業、再生可能エネルギー事業で成長していく
- III 戦略実行に必要な組織力を強化し、強固な事業基盤を築く

▼戦略のイメージ



▼事業領域拡大のイメージ



2015～2019年度の重点的な取組み

Ⅰ 九州のお客さまのエネルギーに関する様々な思いにお応えします

- ① 「多様なエネルギーサービス」の提供による九電ファンの拡大
- ② 電源の競争力と燃料調達力の強化
- ③ 送配電ネットワーク技術の向上と活用

Ⅱ 九電グループの強みを活かして、成長市場で発展していきます

- ① 海外電気事業の強化
- ② 九州域外における電気事業の展開
- ③ 再生可能エネルギー事業の拡大

Ⅲ 強固な事業基盤を築きます

- ① 変革・挑戦する人づくり
- ② スピード感をもって変化に対応できる組織づくり
- ③ 九電グループ一体となった財務基盤・競争力強化
- ④ 安全・安心の追求
- ⑤ CSR(企業の社会的責任)経営の徹底